



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ●副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ●会報委員長 小林 浩太郎

第2959回例会 (令和6年9月9日) 《上田RC・丸子RC合同例会》



ホームページQR

[ゲスト紹介]

国際ロータリー第2600地区ガバナー 白鳥 敬日瑚 様
国際ロータリー第2600地区副幹事 柳田 茂大 様
東信第二グループガバナー補佐 久保田 修二 様

[会長挨拶]

金子 良夫 会長

今日は、ガバナー公式訪問例会ということで、白鳥ガバナー様、久保田ガバナー補佐様、柳田地区副幹事様をお迎えできました。ようこそ本合同例会においでくださいました。クラブを代表いたしましてお礼を申し上げます。そして、日頃から親しくお付き合いいただいている丸子ロータリークラブの皆様と合同例会を開催できまして誠にうれしく思っております。



さて、本年度の当クラブのテーマは「ロータリーを楽しもう」です。その意味は、日頃のロータリー活動、クラブ会員間の交流を通じて、ロータリーの楽しさを知り、会員が心からロータリーを楽しもうという趣旨です。そして、ロータリーについても知識を得ることも大事であり、楽しさにつながると考え、会長挨拶の中では、毎回ロータリーのテーマについて取り入れています。今までの例では、「ロータリーソング『奉仕の理想』と唱歌『ふるさと』のルーツは同じで信州につながる」や「例会で『君が代』を歌う意義といつからはじまったか」などです。先週は「手続要覧から、ガバナーの役割と公式訪問の意義」をテーマに話しました。

さて、今日はどうしても話したいテーマがありました。世界で1番有名なロータリアンの一人であるカーネルサンダースの話です。本日9月9日は、カーネル・サンダースの誕生日です。「カーネルおじさん」、そうです、「ケンタッキー・フライドチキン」の「カーネル・サンダース」こと「ハーランド・サンダース」です。私は以前確認したことがありますが、

お店の前に立っているカーネルおじさんの襟元にはロータリークラブのバッジがついています。

彼は、ロータリーの「四つのテスト」を自分のビジネスの基本ルールにとりいれたそうです。ビジネスにあたり「四つのテスト」に叶っているかどうかを判断基準にビジネスを成功させました。彼はKFCを65歳の時に起こし、世界的なフランチャイズチェーンにしました。私たちも彼に見習い「四つのテスト」を信条にビジネスに励みたいものです。

[丸子RC 会長挨拶]

丸子RC 奥寺 浩司 会長

丸子ロータリークラブ、奥寺会長からもご挨拶をいただきました。



[ガバナー講話]

国際ロータリー第2600地区ガバナー 白鳥 敬日瑚 様

今日皆様にお会いできることを非常に楽しみにしておりました。上田は私の出身地でございますので同級生も多く、関係する方々もいらっしゃいまして、本当にありがたいことだと思います。また島田パストガバナーには日頃からお世話になっております。大変ありがとうございます。この2年、2600地区長野県中を、ガバナー訪問の前にもいくつか歩かせていただきました。そういう中でも数百人の方とお会いしまして、いろんなご意見、ご要望もいただいてまいりました。そういう中で、ガバナー年度は皆さんと共に何をしようかな、ということでそれを今回、方針として出させていただきます。「ロータリーは、あなたと私が出会うところ。そして、次の世代に何をわたせるか、共に考え行動しましょう！」とさせていただきます。



先ほど両会長からお話をいただき、今日は来てよかったな、勉強になったな、と感じました。金子会長の先ほどのお話の、『ふるさと』と『我らの生業』は、高野先生と岡野先生の作詞作曲ということですね。私もお話を聞き、驚きました。

東信第2グループの久保田ガバナー補佐には、事前訪問をしていただき、詳細な報告書をいただいております。しっかり予習させていただいてきましたが、その内容を上田ロータリークラブの金子会長、酒巻幹事様それから丸子ロータリークラブの奥寺会長、大里幹事様といろいろお話をお伺いしました。両クラブとも素晴らしいクラブで、奉仕活動もしっかり続けていまして、先ほど金子会長からエンジョイロータリーというお話がありましたが、ロータリーを楽しんでるクラブなのかなと思いました。上田クラブは1959年11月12日に発足され、丸子クラブは1963年8月28日ということで、この両クラブの時代背景を見ると、日本が非常に面白い時代だったんだな、と佐久コスモスロータリークラブの現在の地区副幹事の柳田さんと2人で聞かせていただきました。

しかし現在、皆さんご存知のように、世界は大激動時代に入っております。おそらく将来の歴史の教科書には間違いなく載るような時代に入ったわけです。このように時代というのは調和から発展期です。**調和から発展期には必ず3つのことが起こっています。それは天変地異と、疫病パンデミック、それから新しい技術です。**今まで日本においても起こっているのは、江戸時代。1860年に、江戸城の桜田門外で水戸浪士によって、時の権力者の井伊直弼が暗殺されたわけでありまして。時の大老が簡単に殺されてしまったのですがそのとき、薩摩長州はもしかしたら江戸幕府は倒せるかもしれない。と言う風に思われたと思うんです。案の定1868年には江戸城無血開城。歴史上始まって以来、一発の鉄砲も打たれずに、火事もなかったという無血開城がなされたわけです。さらに付け加えますと、日本がすごいのはちょんまげを結っているときに、その4年後の1872年、新橋から横浜まで、もう汽車が走りました。当時、馬車と馬しかないで、ものすごいイノベーションなんです。

今の時代もこのコロナの間で、本当は小・中学校にタブレット端末が入るのは10年かかる、と文科省は言っていたのですが、何とたった2年で全小・中学校に入ってしまった。このように、イノベーションというものはすごい勢いなわけです。

現在このような混迷の時代、戦争も行われておりますけれども、R Iの地区会長が1月のオランダでの会合の時に言われたのは、平和を優先するとおっしゃいました。日本も平和でなければいけません。**日本では現在食料の自給率は40%、カロリーベースで38%、そしてエネルギー自給率は13.3%しかありません。**もし戦争があった場合には、日本はあっという間に1週間で死に絶えるぐらいの状態な

わけです。我々の命というのはあと僅かで尽きるわけですが、子供、孫の時代とは悠久の歴史をこれから紡いでいくわけです。子供たちのために何をしたらいいかということがあります。日本も戦争したアメリカ、イギリスと平和条約まで結んで、世界平和のために頑張ろうとされているわけです。しかし我々ロータリーとしては、できることは限られているわけです。例えば米山奨学生。それから交換留学生など、世界と繋がっているわけですが、世界のアジアの子供たちとも繋がろうとしているわけです。

東京ロータリーができたのは1920年10月20日ですが、その3年後に何が起こったか？1923年に関東大震災が起きました。関東大震災が起こった時に、できて3年しか経っていないロータリークラブに世界の30カ国、500を超えるロータリークラブから、莫大な義援金が寄せられました。東京ロータリークラブのすごいのは、この頂いたものを配分する仕方の迅速性、それからこれを通じて日本が初めて世界を感じることができた。ということでもあります。当時、**東京ロータリーが1番目にやったことが、孤児院の建設であります。すごく素晴らしいですよ。2番目に壊れた小学校の修復で、3番目に殉職した警察官のご家族への支援ということをされました。**

これが我々の先輩がされてきたことであります。この歴史が紡いで、今我々がロータリーで生かさせていただいてるわけです。**義援金をいただいたのは1番多かったのはアメリカ。2番目が英国で、3番目が中国なんです。**

我々はこういう時代に生きているわけですが、この東京ロータリーがしてきたように、頂くことだけでなく、今度は差し上げなければいけないわけです。お返しするのに職業スキルというのはとても重要になってくると思います。今年の『ロータリーの友』の1月号に職業奉仕特集というのがありました。この職業奉仕特集で言っているのは、R Iの職業奉仕の考え方と日本はちょっと違いますよ。ということ初めて紙面で出されました。R Iの職業奉仕というのは、**皆さん持たれている職業スキルをクラブの皆さんに話をして、それをみんな地域で困っていることに奉仕をする。**これが職業奉仕となっています。日本においては職業奉仕というのは、高潔な精神のもと貢献する。となっておりますけれども、少しニュアンスが変わっておりますので、元のR Iの方針に戻すべきではないかと思っております。

ここからは資料をご覧ください。これがR Iのテーマ「**THE MAGIC OF ROTARY**」で、この方が提唱されたステファニー・アーチック会長であります。米国のペンシルバニア州のご出身です。その下を見ていただきますと、2600地区のクラブ分布がございます。状況ですが、赤い丸が20人以下の会員のクラブであります。長野県では約14クラブございますが、それぞれが本当に地域で頑張っています。白馬・

中野・南佐久・木曾。このクラブは我々の友人です。このクラブを、絶対、絶対無くしてはいけないということでもあります。

■地区標語

ロータリーは、あなたと私が出会うところ。そして、次の世代に何をわたせるか、共に考え行動しましょう！

スローガンは「LIFE 5」とさせていただきます。これは命の5%です。我々はもうこのロータリアンでいるだけで実は奉仕をしております。世界の子供たちの命を助けるという事業に貢献しております。しかし、会員を5%、皆さんのクラブですと、例えば40人50人といたしますと、2人増強をしていただくことで5%アップですので、さらに子供たちの命を助けることができるわけであります。当然寄付もそうです。

■地区重点行動計画

1. R Iの行動計画を理解し、楽しいクラブ作りに邁進しましょう！

戦略計画委員会をお作りになっていただいていると思いますが、**行動計画推進リーダー**を作っていただきたいと思えます。これまではアクションプランチャンピオンという名前で来ましたが、行動計画推進リーダーとさせていただきます。

次に**クラブセントラルへの記入**であります。これは**100%達成**しましょう。

2. 職業スキルを活用した奉仕活動により、新しい層のロータリーの友達を増やしましょう！

会員のアップ、それから新クラブの結成、小学校の授業の奉仕を計画し、若年保護者の加入を促進しましょう。

「**夢の実現プロジェクト**」という名前にさせていただきました。今回はまず、心身の発達のために、講演と歩行ケアの活動を推進することをお願いいたしました。これは皆さん持たれているスキルを小学校のために、ぜひ奉仕活動をしていただきたいということでもあります。

■地区の課題と対策案

皆さんのところを回りまして、いろんな課題をいただきましたが、この対策案もいただいてできたのが「**夢の実現プロジェクト**」新入会員セミナーからDEI研究会。ガバナー直結のものを作らせていただきました。これは白馬ロータリークラブ中心となり、中信第1グループで、もう実際に行っております。白馬南小学校120名に対しまして、保護者30名。中信のロータリアン33名。交換留学生2名。そしてインターアクト生、白馬高校5名。校長先生も参加しまして、総勢199名が小学校の授業から一般の皆さんへの波及が始まっているということでもあります。

この夢の実現プロジェクトですが、東信第2グループは丸子クラブの方で、武石小学校で先生もやりたいという

お話をいただきました。全校生徒が135名で8月28日。ぜひ、丸子クラブの呼びかけにお答えいただいでご参加いただければと思います。また東信第1グループからは9月13日、南佐久ロータリークラブでも行います。今週行いますが、もう実際に始まってまして7月3日から段取りは始まっています。

ところで白馬小学校は小学生120名おりますが、120名中、ロータリーを知っている子供が何人いたと思えますか。町長もロータリアン。県会議員もロータリアン。町会議員もロータリアン。主だった企業もロータリアンだらけの町で、小学生でロータリーを知っている子が何人いたかですね。ゼロです。町長もロータリーなのになぜそういうことが起こるかです。ぜひこれを解消しなければいけない。アーチック会長から私に言われてきたのは、皆さんロータリーでやっているポリオにしても地区奉仕事業にしても、これを**地区の市長など、地区を代表する方にぜひ訴えなさい。こうやっているんだと言いなさい。と言われてまいりました。**我々の活動というのは小さな活動であります、**今日よりも明日、明日よりも明後日と、1ミリでもこの世の中が平和でよくなるようにということ**で我々は動いているわけです。ぜひ失われた30年を次の希望の30年にするということ、ご協力いただければと思います。

10歳の子供というのは、脳の中に**かいぼ**というのがあるようで、この成長が10歳で止まります。それから10歳まで小学校4年までに、やらないと記憶定着が悪いと言われておりますので、ぜひ小学校4年までの事業を中心でお願いできればと思います。

最後に今年、地区大会があります。11月9日(土)、10日(日)、軽井沢のプリンスホテルで、佐久ロータリークラブのホストでございます。もう本当に佳境で皆さん頑張ってください準備しているわけですが、今年の皆さんの**ロータリーテーマは、「結び」とさせていただきます。**聖徳太子の時代、仏教が伝来したときに、日本の中で神道と仏教を結ぶことができた。さらに第二次世界大戦後、戦争で負けたアメリカ・イギリスとも平和条約で結ぶことができた。日本は結ぶことができる国です。**国連が機能不全の中、日本の中、我々が世界平和に向かってしっかり子供たちを育てていく、これがとても重要であると思えます。**

今年の夏は非常に暑くて台風が迷走したり、いろいろございましたけれども、皆さんのご健勝をお祈り申し上げます。今後もどうぞガバナーとしても至らぬ点が多いと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

上田ロータリークラブ・丸子ロータリークラブの皆様のご健勝を祈念いたしまして、ガバナーとしてのご挨拶とさせていただきます。今日はありがとうございました。

[ガバナー補佐挨拶]

東信第二グループガバナー補佐

久保田 修二 様



皆さんこんにちは。ガバナー補佐の久保田です。過日は上田ロータリークラブ・丸子ロータリークラブの皆さんにお世話になりましてありがとうございました。今のところ、自クラブも含めて3クラブほど事前訪問ということをやらせていただいているのですけれども、今回はある程度お話できる立場でクラブを訪問させていただいて、それぞれのクラブにかなり特徴があると思っています。

ご自分たちが気づいてらっしゃらない特徴というの、かなりあるのではないかという風に思っておりまして、当上田西クラブの会長・幹事さんには、**アクションプランのステップ1**というのをぜひやって欲しいとお願いしているのです。いろいろ会員さんの考えていることを吸い上げるようなアンケート調査をすることです。

私も上田西クラブはわかっているようでわかってないものですから、客観的に見るとどういうものなのかということが、なかなか行ってみないとわからないということもありまして、そういう意味では軽いカルチャーショックみたいなものを受けています。それで私の今年度のテーマは、「**なぜみんなロータリーに入ってるか**」ということなのです。地区大会で何百人も集まると、忙しい方々がこんなに来ておられることに、軽い感動みたいなのを覚えることもあります。その原因は何なのかという事を、私は今年1年のテーマにしています。結論が出るかどうかわかりませんが、1年をかけていろいろ事前訪問させていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いたします。

[幹事報告]

酒巻 弘 幹事

1. 地区事務所

9月ロータリーレートお知らせ145円
ロータリー文庫2023-2024年度決算
報告・予算書



長期青年交換派遣学生 再募集のお願い
「第1回会長エレクト・次期幹事研修」のご案内
基本的教育と識字率向上月間リソースのご案内

2. 須坂五RC 事務局電話番号・FAX番号変更について

3. 軽井沢RC 創立60周年記念誌 謹呈

4. 上田市保健福祉事務所

長野県薬物乱用対策推進協議会長 表彰状の贈呈について
ご案内

5. 「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金事務局

「ダメ。ゼッタイ。」募金寄付のお礼のハガキ

6. 豊かな環境づくり上小地域会議

信州豊かな環境づくり県民議会会報について(送付)

7. 例会変更 上田東RC 9月18日(水) 定受なし
25日(水) 定受なし
10月16日(水) 定受なし
30日(水) 定受なし
11月6日(水) 定受なし
20日(水) 定受なし

8. 会報恵送 松本西南RC

[ニコニコBOX]

田中 克明 委員長

飯島幸宏さん 出田行徳さん 伊藤典夫さん 内河利夫さん
小熊直人さん 小幡晃大さん 金子良夫さん 上島孝雄さん
北村修一さん 木本昂さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん
小林浩太郎さん 小山宏幸さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん
佐藤倫さん 島田甲子雄さん 春原宏紀さん 関啓治さん
滝沢秀一さん 瀧澤亮介さん 田中克明さん 田邊利江子さん
成澤厚さん 林秀樹さん 比田井美恵さん 藤森幸路さん
布施修一郎さん 保科茂久さん 三井英和さん 柳澤雄次郎さん

本日喜投額 32名 ￥33,000

累計 ￥431,000

[例会の記録]

司会:保科 茂久 会場・出席委員

斉唱:奉仕の理想

●ゲスト紹介 ●ガバナー補佐挨拶

●上田RC・丸子RC会長挨拶 ●幹事報告

●ガバナー講話

国際ロータリー 第2600地区ガバナー 白鳥 敬日 様

[ラッキー賞]

北村 修一さん(丸子RCより クッキー)

柳田 茂大 地区副幹事様(丸子RCより ナガノパープル)

工藤 洋三さん(柳澤 雄次郎さんより おしゃれな小物)

[出席報告]

保科 茂久 委員長



| | 本日 | 前々回 (8/26) |
|-------------------------|-------|---------------|
| 会員数 | 51 | 51 |
| 出席ベース | 49 | 50 |
| 出席者数 | 35 | 43 |
| 出席免除(b) ()内は出席者数 | 4(2) | 4(3) |
| 出席免除(a) | 0 | 0 |
| メイクアップ ()内はMake up後 | | 0(43) |
| 出席率 | 71.43 | 88.00 |

[次回例会予定]

10月7日(月) 慶祝

会員卓話 瀧澤 亮介さん

(9月30日発行)

【会報担当】 小林 浩太郎 会報委員長